









支出命令書

決裁日 〇7年 11月 5日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局	起票日	平成27年11月5日	整理番号	5473-15
-----	--------	-----	------------	------	---------

年 度	平成27年度	会 計	一般会計	予算区分	現年度予算
-----	--------	-----	------	------	-------



款	1	議 会 費	確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費	源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金 額	¥15,000	検収者	印
-----	---------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
-----	--	------	------

債 権 者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住 所	金融機関	
	名 称 市民トライネット代表者 清水 勝	支 店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺 残 額	¥615,518









摘 要	研究研修費	支払予定日	平成27年11月16日
	11/17~11/19 第10回全国市議会議長会研究	支払明細 整理番号	001
	フォーラム参加負担金及び視察参加負担金	請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成27年 11月 16日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 市民トライネット代表者 清水 勝 </p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;">収入印紙</div>	<p>支出負担行為確認</p>  <p>支 払 済</p>
--	---	--



2015000547301155




供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年 11 月 5 日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民ネット
代表者名 清水 勝 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	15,000円		
内 訳	11/17~11/19 福島市 第10回全国市議会議長会研究フォーラム参加負担金及び視察参加負担金		
支払先	(株) JTB東北		
予算科目	研究研修費	交付残額	6,558円
使用者名	高橋 登		

■定員

2,000名

※大ホールは定員1,600名で、議長については申込みの先着順（議長の優先申込期間の申込みに限る）に大ホールでの参加となります。なお、それ以外の申込者については、抽選の結果に基づき順次大ホールでの参加となります。

※抽選による大ホールの参加者が満員になり次第、抽選の結果に基づきライブ中継会場（定員400名）での参加となります。ただし、大ホールの参加については、副議長又は議員を優先させていただきます。

※議会事務局職員の申込みにつきましては、各市区につき1名を限度とさせていただきます。

※ライブ中継会場（定員400名）が満員となりましたら、キャンセル待ちでの受付となりますのであらかじめご了承ください。

■参加費

1人7,000円

◇お問い合わせ先◇

【研究フォーラム運営について】

全国市議会議長会 調査広報部 担当：篠田、本橋

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-2 全国都市会館6階

TEL：03-3262-2303

【交通・宿泊について】

株式会社JTB東北 地域交流・MICE事業部 MICEセンター

「第10回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島」係 担当：星、樋野、佐藤

〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル4階

TEL：022-208-5430 FAX：022-263-7481

Eメールアドレス：shigikai2015fukushima@th.jtb.jp

営業時間：9時30分～17時30分（土日・祝祭日は休業）

福島市においては、東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故からの復興へむけ全力で取り組んでおります。

全国の議員の皆様にも、福島のご状況をご理解いただくため、福島市にお越しいただくことが何よりの復興支援になるものと考えております。参加される皆様のため、「おもてなしの心」を持って皆様をお迎えしたいと考えておりますので、是非、ご案内の温泉旅館を含めた宿泊施設等をご利用ください。

福島市議会議長 佐藤 一好

<参加・宿泊・交通のお申込み>

P.8～9の「参加申込みのご案内」をご参照の上、「第10回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島 参加申込書」に必要事項をご記入いただき、Eメール（FAX・電話でのお申込みは不可）にてお申込みください。

<視察のお申込み>

第2日目（11/19）の閉会式終了後、視察コースを設定しています。P.12～16の「視察プランのご案内」をご参照の上、「第10回全国市議会議長会研究フォーラム in 福島 参加申込書」の「視察」の欄にご希望を明記してください。

視察プランのご案内

視察研修コースは、次の10コースを設定しています。当日の交通事情により、下記スケジュールは変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。集合場所・時間につきましては、参加証などをお送りする際にお知らせいたします。

※記号の見方：◎入場、○下車 ===貸切バス

※視察箇所は、都合により変更になる可能性もございます。最終の視察コースは、最終案内にてご確認ください。

※日帰りの場合と1泊の場合で取消料の基準日が異なります。ご注意ください。

A 福島市／福島市内復興関連施設視察

【日帰り】

コースポイント 福島県内の除染状況や、食品検査体制をご視察していただけます。専門家のお話を中心に、福島県の現状を正確に知ることができます。

■募集人員：40名 ■最少催行人員：30名 ■旅行代金（お一人様あたり）：8,000円 ■食事：昼食1回
 ■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、昼食代、入場料、添乗員費用 ■添乗員：同行します

11/19 (木)	福島県文化センター	====	福島市内（昼食）	====	◎除染情報プラザ	====
	11:30				13:00	14:00
	====	◎食品検査体制視察	====	◎観光果樹園「あづま果樹園」	====	◎こむこむ
	14:40	15:30	16:00	16:50	17:10	17:40
	====	JR 福島駅				
	17:45					

【除染情報プラザ】除染情報プラザは、除染や放射線に関する最新の情報をお伝えする拠点です。福島駅前にあるスペースで、わかりやすい展示やアドバイス、セミナーなどを行っています。また、より多くの方々に最新の情報を知っていただけるよう、パネルや映像などを利用した移動展示を行ったり、市町村や町内会、学校などへ専門家を派遣しています。

【食品検査体制視察】JA新ふくしま農産物直売所での果物や野菜の検査体制の概要を説明し、JAモニタリングセンターの見学や農産物直売所の見学をしていただけます。

【あづま観光果樹園】震災後の観光果樹園の原発事故対応を説明いただき、時間があればリング狩りを行います。

※時間がない場合は、リングの試食（無料）またはもぎ取り体験（1個のみ）となります。

【こむこむ】プラネタリウム、クライミングウォール、ワークショップ室、常設展示室、子ども図書館などの体験空間を備えた子どもの夢がいっぱいの施設の見学と概要説明を行います。

B 福島市／再生可能エネルギー関連施設視察

【日帰り】

コースポイント 再生可能エネルギーで土湯温泉活性化の取組を視察します。土湯温泉に豊富にある温泉熱、河川水を利用した再生可能エネルギーで地域の活性化を目指した取組や、観光客誘致について、お話しをしていただけます。








■募集人員：40名 ■最少催行人員：30名 ■旅行代金（お一人様あたり）：9,000円 ■食事：昼食1回
 ■旅行代金に含まれるもの：貸切バス代（ガイド付き）、昼食代、入場料、添乗員費用 ■添乗員：同行します

11/19 (木)	福島県文化センター	====	土湯温泉（昼食）	====	◎土湯小水力バイナリー発電	====
	11:30				14:00	16:00
	====	JR福島駅				
	17:10					

【土湯温泉】土湯温泉での東鴉川小水力発電と温泉熱活用のバイナリー発電の概要をプロジェクターを用いて説明（60分）を受け、現地を見学していただけます。

支出命令書

決裁日 27年 11月 5日

市長 ****	副市長 ****	教育長 ****	部長 ****	次長 ****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 ****	係長 ****	担当者 山崎	入力 	財政課合議 ****		

所属	市議会事務局	起票日	平成27年11月5日	整理番号	5473-16
----	--------	-----	------------	------	---------

年度	平成27年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算
----	--------	----	------	------	-------



款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金額	¥82,860	検収者	印
----	---------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
-----	--	------	------

債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い	1.現金 2.小切手
	住所	金融機関		
	名称 市民トライネット代表者 清水 勝	支店		
	職氏名	預金種別		
		口座番号		
		伺残額		¥532,658








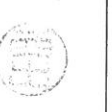
摘要	旅費	支払予定日	平成27年11月16日
	11/17~11/19 第10回全国市議会議長会研究	支払明細整理番号	001
	フォーラム参加旅費	請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成27年11月16日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 市民トライネット代表者 清水 勝</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;">収入印紙</div> 	<p>支出負担行為確認</p> <div style="text-align: center; margin: 20px 0;">  </div> <p>支払済</p>
--	---	---



2015000547301164




供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年11月5日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民クラブ
代表者名 清水勝 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	82,860円		
内 訳	11/17~11~19 福島市 第10回全国市議会議長会研究フォーラム 参加旅費		
支払先	高橋 登		
予算科目	旅費	交付残額	532,658円
使用者名	高橋 登		

平成27年度

出張申請書

(出張)

会派名	市民トライネット	氏名	高橋 登					
出発・帰庁年月日	出発 27年11月17日		帰庁 27年11月19日					
出張先(順路)	福島県文化センター(福島県福島市春日町5-54)							
目的及び用件	第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 東京	556.4 } 783.1	10,800	特急 (のぞみ) 5,700	閑散期 △ 200				16,300
" (東北新幹線) 郡山			特急 (やまびこ) 4,200					
" 福島		郡山から研修会場、研修会場から福島駅までは、主催者側が用意したバスを利用する。						
" (東北新幹線) 東京	272.8 } 829.2	11,120	特急 (やまびこ) 4,200	閑散期 △ 200				15,120
" (東海道新幹線) 新大阪			特急 (のぞみ) 5,700					
" (地下鉄御堂筋線) 難波		280						280
" (南海本線) 泉大津		440						440
							計	82,860

主管課用

平成27年度









領収書兼旅費明細書

(出張)

会派名	市民トライネット		氏名	高橋 登				
出発・帰庁年月日	出発 27年11月17日		帰庁 27年11月19日					
出張先(順路)	福島県文化センター(福島県福島市春日町5-54)							
目的及び用件	第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島に参加							
区間	距離	運賃	料金	車賃	宿泊料	日当	食卓料	計
泉大津 (南海本線) 難波	km	円 440	円	円	円	円	円	円 440
" (地下鉄御堂筋線) 新大阪		280						280
" (東海道新幹線) 東京	556.4 783.1	10,800	特急 (のぞみ) 5,700	閑散期 △ 200				16,300
" (東北新幹線) 郡山			特急 (やまびこ) 4,200					
" 福島		郡山から研修会場、研修会場から福島までは、主催者側が用意したバスを利用する。						
" (東北新幹線) 東京	272.8 829.2	11,120	特急 (やまびこ) 4,200	閑散期 △ 200				15,120
" (東海道新幹線) 新大阪			特急 (のぞみ) 5,700					
" (地下鉄御堂筋線) 難波		280						280
" (南海本線) 泉大津		440						440
							計	82,860
右の金額領収いたしました。				金額	¥ 8 2 8 6 0			
平成 年 月 日				職名	市民トライネット			
泉大津市会計管理者 殿				氏名	高橋 登			



□決 裁 ■供 覧

受発記号・番号		收受年月日	平成27年12月16日		
差出 名	市民トライネット 高橋 登				
あて 名	泉大津市議会議長			提出期限	
收受文書の記号		收受文書の日付	平成27年12月16日		
件 名	報告書				
	議長	副議長	事務局長	次長	合 議
					
主 管	次長補佐	議事調査係長	庶務係長	主査	
					
処 理 上 の 意 見 及 び 注 意 事 項					
<p>日 時：平成27年11月17日（火）～11月19日（木）</p> <p>出張先：福島県福島市</p> <p>目 的：第10回全国市議会議長会研究フォーラムin福島に参加</p>					

報 告 書

会派代表者

清水 勝



平成27年12月16日

泉大津市議会議長 殿

市民トライネット

出張者 高橋



下記により出張したので、その概要について報告いたします。

記

1. 日 時：平成27年11月17日（火）～19日（木）
2. 出張先：福島県文化センター
3. 目 的：毎年実施されている全国市議会議長会主催の第10回全国市議会議長会研究フォーラムに参加させて頂いた。今フォーラムは、2012年3月11日の東日本大震災から3年半を経過して、懸命に復興に取り組んでいる東北福島から復興の現状と課題さらには、全国自治体における大災害の備えとまちづくりについて研修するとともに、南海トラフ地震が近い将来起きることも射程に入れた本市のまちづくりに寄与する目的で研修させて頂いた。

4. 報告内容

全国市議会議長会研究フォーラムは、18日から19日の日程となっているが、17日前日から現地に入る着き泊まりで日程を組んで頂いていた。途中、東京スカイツリーの5階で、泉大津市がブースを設けシティープロモーションを実施しているとの事で視察させて頂くとともに企画を担当している職員を激励させて頂いた。東京からは東北新幹線に乗り込み、夕刻5時過ぎには、郡山駅につきホテルでの宿泊となった。

全国から2千人を超える地方議員、自治体関係者が福島に参集したこともあって、福島市内のホテル旅館は満杯との事から私どものホテルは郡山市内となったが、宿泊ホテルから福島市内の研修会場まで1時間30分の移動を要した。

福島駅から会場までは、シャトルバスが運行されており、午後1時の開会式に臨ませて頂いた。開会にあたって、全国市議会議長会会長高松市議会議長の岡下勝彦氏は、「議会は人口減少時代に対応していく必要があるとともに

福島市で開催される意義を認識し、災害対策や震災復興と地方議会の関係について議論を深めていきたいと挨拶された。

この後「大震災からの復興と備え」と題して熊本県立大学理事長の五百旗頭真氏が基調講演を行い、東日本大震災における復興の現状と政府の取り組みの不十分ささらには、災害国日本の災害に対する備えと意識の問題含めて講演された。

若干のトイレ休憩の後、第2部「震災復興・地方創世の課題と自治体の役割」とのテーマで以下のメンバー

コーディネーター	城本 勝	NHK 福岡放送局局長
パネリスト	大滝 精一	東北大学大学院経済学研究科教授
	役重眞喜子	花巻市コミュニティアドバイザー
	山下 祐介	首都大学東京准教授
	金井 利之	東京大学公共政策大学院教授
	高木 克尚	福島市議会議長

各氏によってパネルディスカッションが行われた。

まず、城本氏から各パネリストに対し、「震災復興を地方創世にどのように生かしていくのか、その場合自治体はどのような役割を担っていく事が大切と考えるのか。」という問題提起を行った。大滝氏は、被災地の中心的産業である農業、漁業、水産加工業などは7～8割近くまでは回復してきているが、新たな担い手不足が課題となってきた。主要産業である建設業は、復興需要に支えられて今は、活況を呈しているが、復興需要の減少とともに衰退していく懸念を持っている、今からそのための備えが必要と課題を挙げて提起した。

役重氏は、地域コミュニティの再構築に向けて何が必要なのか、もっと議論すべきである。復興のゴールがわかりづらい、まず、元に戻すことが大切であり、遅れば遅れるほど人は去っていき、負のスパイラルに入っている、国の補助金行政も一過性のものが多く復興の弊害ともなっている。住民の合意形成の重要性を重視しながら、議会は、多様な意見をくみ上げ、論点を可視化していく努力が必要と提起した。

山下氏は、増田レポートで言われる人口減少社会が震災復興にどのように影響していくか、今から対策と準備が必要。周辺から行政の広域システムを考えたい事が必要と持論を展開した。

金井氏は、真の地方創生は、国の号令によって始めるものではない。地域の人々の内発的な思想と思い入れ行動がなければ成功しない。議会の役割は、地域の内発的な営みを支援するとともに恣意的に配分される国の補助金・交付金目当てのまちづくりではなく、地域社会と民間市場経済の動向に目をしっかり向けた地域づくりに力を入れるべきであると提起した。

高木氏は、議会の立場から「復興の現状と課題」について東日本大震災、原子力発電所事故による被害と避難状況についてリアルに実体験を交えて報告いただいた。大災害時において議会は、どのように動き復興に向けた取り組みを始めたのか、議会議員として最も関心の高いテーマから議論が始まった。議員としては、発災直後の調査活動から復興に向けての具体的提言及び市民の声を行政に反映させ、施策にしていく活動及び市内各所の平均環境放射線量の推移、福島市の観光客入込総数の推移等の取り組みさらには、除染を進めることで住環境の回復をはかるとともに安心して働き、子育てができ、住み続けられる街へ向けて残された課題は、まだまだ多いと復興半ばで奮闘する地元の苦悩を提起した。

それぞれの提起された課題をコーディネーターがまとめ、一日目のパネルディスカッションを終え、2日目の課題討議に引き継いだ。

2日目は、9時の開会に間に合わせるため7時過ぎにホテルを出発、会場前はシャトルバス、タクシーで駆けつけた参加者で混雑する中をかき分け会場に到着した。9時からプログラム第4部「震災復興と議会～現場からの報告」というテーマの設定の下

コーディネーター	河村 和徳	東北大学情報科学研究科准教授
事例報告者	伊藤 明彦	陸前高田市議会議員
	熊谷 伸一	気仙沼市議会議員
	平田 武	南相馬市議会議員

のメンバーで課題討議が始まった。

まず、河村氏から東日本大震災被災地を現地調査した感想と問題意識を披露したのち、今日の課題討議の論点を①災害発生時に求められる地方議会の対応力②復旧・復興過程における対首長・対住民関係③将来に向けた取り組みの必要性についての3点にまとめて提起した。

伊藤氏は、陸前高田の市街地が壊滅状態となり、市庁舎が水没災害対策本部機能が喪失したことで、中学校の教室で臨時議会を開催し「市震災復興計画」を議決させてきたこと、さらには、市民集会を開催し、被災者の住宅再建を優先課題として取り組みつつ、被災市街地土地区画整理事業や津波復興拠点整備事業（高台造成地の建設）防災集団移転促進事業、災害復興公営住宅等整備事業等々、議会として復興事業を精力的に取り組んできたことが報告された。

熊谷氏は、死者数1,042人、行方不明者数220人、震災関連死108人等気仙沼市の被災状況を報告したのち、地盤が70センチ以上沈下し、4～5メートルも南東に移動したことで民地の嵩上げに公費投入は出来ない等、住宅再建に課題を残した。また、水産業の壊滅から立て直ちに精力的に取り組んできたことが報告された。

平田氏は、震災後の3月15日には、市議会災害対策会議を任意で発足させ、議員が独自に収集した情報や市民からの要望を議会として集約・整理し、災害対策本部へ情報提供したこと等が報告された。さらには、原発事故により原発被災損害賠償請求手続きの簡略化、仮設住宅の改善、安全対策、生活支援、常磐自動車道の無料化の継続、市内に留まった市民に対する迅速な賠償、福島第一・第二原子力発電所の廃炉や十分な補償を求める等、議会として積極的に要望書としてまとめ提出する等活発な活動を進めてきたことが報告された。最後に放射能との戦いが復興事業に大きな桎梏となるばかりか、世代を超えた長期的な戦いになることが深刻な課題として報告された。

午後1時過ぎには予定された視察コースに合流させて頂いた。私は、Aコースに設定されていた除染情報プラザを視察させて頂いた。情報プラザを訪れる市民視察の方々が多いようで専門の説明者がボランティアで常駐されており、一定の人数がそろった段階で、放射能の基本知識からベクレル(Bq)グレイ(Gy)シーベルト(Sv)それぞれの単位解説及び除染状況と今後の避難者が地元に戻れる条件づくりに至るまで約1時間にわたって解説いただいた。

解説の中で少し気になったのは、低線量被曝についての見解であるが、まだまだ、解明されていない影響については、世界の基準を引き合いに出しながら安全であることを強調しようとしていた点であった。

三日間にわたる研修であったが、会場が東北地方という事もあり、東北新幹線と東海道新幹線を乗り継いで20時過ぎの帰阪となった。








<所見>

三年半前にかれき撤去ボランティアで訪れたころは、いわき市駅前の空間線量計で0.26Svであったと記憶しているが、福島市内では、0.15Sv位まで下がってきていたことが、復興にもつながっているのかなと少しの安心と希望を見出す事が出来たように思います。しかし、まだまだ本格的な復興までには、多くの時間と課題を解決していかなければならないことを実感させられた。

以上

支出命令書

決裁日 27年 11月 27日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 *****	入力 	財政課合議 *****		

所 属	市議会事務局		起票日	平成27年11月27日	整理番号	5473-17
年 度	平成27年度	会 計	一般会計		予算区分	現年度予算
款	1	議 会 費			確 認 事 項	確 認
項	1	議 会 費			タイムカード(出勤簿)	
目	1	議 会 費			源 泉 徴 収	
細目	4	議会調査研究事業			被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金			通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費				
金 額	¥7,800			検収者	印	
控除額				支払方法	通常支払	
債 権 者	登録No. 99999			支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手	
	住 所			金融機関		
	名 称 市民トライネット代表者 清水 勝			支 店		
	職氏名			預金種別		
				口座番号		
				伺 残 額	¥524,858	
摘 要	資料費			支払予定日	平成27年12月10日	
	自治体議会—議会改革の実践手法—(書籍)			支払明細 整理番号	007	
	外1冊			請求書番号		

上記の金額を領収しました。
平成27年12月10日

泉大津市会計管理者 様

住所

名称

氏名 市民トライネット代表者 清水 勝

収入印紙

支出負担行為確認









支 払 済



2015000547301173

泉大津市

27.11.27


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年 11月 27日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民、ライネット
代表者名 清水 勝 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,800円		
内 訳	自治体議会—議会改革の実践手法—(書籍) 自治体財務の実務と理論—違法・不当といわれなかったために— (書籍)		
支払先	株式会社 ぎょうせい		
予算科目	資料費	交付残額	524,858円
使用者名	高橋 登		

請求書

高橋 登

様 平成 27 年 11 月 20 日

下記のとおりご請求いたします。

金額には消費税及び地方消費税が含まれております。

ご請求額 **¥7,800.-**

お得意様No. (請求No.) **70-9174450**
531089350

東京都江東区新木場1丁目18番11号(〒136-8575)



代表取締役 澤田 裕

お支払は平成 27 年 12 月 20 日までにお願いいたします。

E

品名	追録号数	数量	単価	金額	備考
自治体議会議会学一議会改革の実践手法		1	2300	2300	
自治体財務の実務と理論		1	5500	5500	
一違法・不当といわれたいために					

(振込先)



0002910540

(36)

(要打電項目)

531089350 カンボル

振込金受領証

(金融機関の用紙で記入)

払込人氏名 高橋 登	振込先 株式会社きよつゆ
お問い合わせ番号 709174450	みずほ銀行 東京営業部
金額 7,800	普通 4913720
内消費税額 578	お振込先
変取人	印



(お密様控)

自治体 議会学

議会改革の実践手法

山梨学院大学教授

江藤俊昭 著

ぎょうせい



9784324095713



1923030021908

ISBN978-4-324-09571-3

C3030 ¥2190E

定価(本体2,190円+税)

[5107908-00-000]



自治体財務の 実務と理論

—違法・不当といわれなくために

橋本 勇 著

ぎょうせい

ISBN978-4-324-10059-2 C3031 ¥5093E

定価(本体5,093円+税)
[5108190-00-000]



9784324100592










1923031050938



支出命令書

決裁日 27年 11月 30日

市長 *****	副市長 *****	教育長 *****	部長 *****	次長 *****	課長・室長 	課長補佐 	係長 	担当者 
会計管理者 	会計課長 	課長補佐 *****	係長 *****	担当者 	入力 	財政課合議 *****		



所属	市議会事務局	起票日	平成27年11月30日	整理番号	5473-18
年度	平成27年度	会計	一般会計	予算区分	現年度予算

款	1	議会費	確認事項	確認
項	1	議会費	タイムカード(出勤簿)	
目	1	議会費	源泉徴収	
細目	4	議会調査研究事業	被服貸与台帳記載	
節	19	負担金、補助及び交付金	通勤経路及び金額	
細節	45	政務活動費		

金額	¥7,872	検収者	印
----	--------	-----	---

控除額		支払方法	通常支払
債権者	登録No. 99999	支払区分	窓口払い 1.現金 2.小切手
	住所	金融機関	
	名称 市民トライネット代表者 清水 勝	支店	
	職氏名	預金種別	
		口座番号	
		伺残額	¥516,986

摘要	事務費	支払予定日	平成27年12月11日
	シャープ FAXリボン (UXNR9GW) 3本	支払明細整理番号	001
		請求書番号	

<p>上記の金額を領収しました。 平成27年12月11日 年 月 日</p> <p>泉大津市会計管理者 様</p> <p>住所</p> <p>名称</p> <p>氏名 市民トライネット代表者 清水 勝 </p>	<p>支出負担行為確認</p> <p></p> <p>支払済</p>
--	---

収入印紙











2015000547301182

泉大津市



27.11.30


供	議長	副議長	局長	次長	次長 補佐	議事調 査係長	庶務 係長	主査
覧								

別記様式第5号 (第4条関係)

政務活動費交付請求書

平成27年11月30日

泉大津市長
伊藤晴彦様
(泉大津市議会議長経由)

会派名 市民トライネット
代表者名 清水勝 

政務活動費交付請求書

泉大津市議会政務活動費の交付に関する規則第4条の規定により、下記のとおり政務活動費を請求します。

記

交付請求額	7,872円		
内 訳	シャープ FAX リボン (UXNR9GW) 3本		
支払先	(株) イノウエ商事		
予算科目	事務費	交付残額	516,986円
使用者名	市民トライネット		

領 収 証

No. _____

市民ネット 様

17年 02月 11日

★ 7,870.-

但 FAX 代

上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等 (%)

大阪府泉大津市我孫子2-4-20

株式会社 イノウエ商事

電話0725-23-1147(代)